

【町政への要望事項及び町からの回答】

大川ブロック

平成29年度町政への要望事項と回答

提出区会名

大浜中西区会

要 望 事 項

災害などが起きた時の避難について

1. 明確かつ具体的に早急に示してほしい。
2. 海に近い学校を避難所にするのは不安である。
3. Jアラートにおけるサイレンの設置をお願いしたい
 - ・大川町など栄町地区には消防のサイレンは聞こえない。
 - ・津波の際も要望したが、町中心部以外のことは考えていないのか？検討するとの回答では納得できない。

回答（処理）事項

担当課名

地域協働推進課

災害などが起きた時の避難については、現在本町では、災害等の発生または発生のおそれがある場合には、その地域の皆さんに対して広報車による伝達や携帯電話への緊急速報メール（エリアメール）の配信、マスコミへの情報提供、さらには区会への連絡や個別訪問などにより対応することとしています。避難所については、本年2月に北海道から新たな津波浸水想定が公表され、本町では、その公表結果に基づき津波や風水害など災害の種類に対応した避難所の見直しを行い、頑丈かつ高階層の民間施設を避難所として指定するなど、避難体制の拡充を図るとともに、それらを新たに作成する防災ガイドマップに示し、全戸配布により皆さんにお知らせすることとしています。また、サイレンの設置については、現在、本町では防災無線の整備に係る調査・研究を実施しております。防災無線は、導入に伴う経費や維持管理経費など考慮すると、早期に整備することは困難な状況にありますが、災害時における情報伝達の確保は重要課題の一つであるため、防災無線のシステムや整備上での地理的条件など、本町に最も適した、皆さんに確実に情報が伝わる手段の検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。

提出区会名

大浜中西区会

要 望 事 項

道の駅について

町の発展を目指して、余市の特産物を一堂に会して町内外の人を集める道の駅を全体でしっかり考えてほしい。

回答（処理）事項

担当課名

商工観光課

「道の駅 スペース・アップルよいち」は、ドライバーなど道路利用者に対する利便性の向上などを図るため、道路管理者北海道開発局の支援のもとで、駐車場とサービス施設を一体的に整備を実施し、北海道内においては49番目の道の駅として平成10年に供用開始し、来訪者に対して道路情報や地域観光情報の提供、飲食店情報などについて発信し、サービス提供を行ってきました。

一方で、供用開始から18年を経過したこともあり、売店、直売所、トイレなどが分散していることや、売店、直売所などの規模が小さく利用者の満足度を得られていない、トイレが古くなって清潔さが低下してきている、そして、他の道の駅に比べて見劣りがするといったことが指摘されてきています。

町では、現在、分散している施設を集約し、さらに新たな機能を加えつつ道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を再編整備するために調査検討を行っているところであり、今後、具体的な施設配置関係、機能集約・機能充実、地域の情報発信拠点として位置付けできるよう、取り進めていくところです。

提出区会名
大浜中西区会

要 望 事 項

本町の教育について

本町の特色ある教育をどのように設定しているのか。また、その取り組みの成果は。

回答（処理）事項	担当課名	学校教育課
<p>本町の特色ある教育に関しては、親善都市である会津若松市との児童生徒交流会の実施により余市町のルーツを学ぶ機会を設けたり、中学校でのキャリア教育として、町内の商店等での職業体験や福祉施設等でのボランティア活動への参加など、町内外の地域と連携した教育を実施しています。</p>		

提出区会名
大浜中西区会

要 望 事 項

若年層の意見の町政への反映について

町政に若者の意見や行動をどのように取り上げているのか。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
<p>若年層の町政への意見の反映について、本町では、本年度中に総合計画の見直しを予定しており、今後のまちづくりの参考とするため、町内の中学校及び高校の生徒さんを対象に、「町への愛着度・定住意向等」のアンケートを実施し、回答をいただいたところです。また、現在、意見を聞く機会としては、例年、区会連合会との共催により、各区会をブロック編成し町政懇談会を開催し、直接、皆さんの声を伺っております。</p> <p>さらに皆さんからの要望や意見を聞くために、区会連合会をとおして「町政への要望」の募集を行い、要望に対しましては、区会単位に回答を行っているところであります。</p> <p>また、役場1階ロビー、余市町図書館、余市町中央公民館、余市町福祉センターの4箇所に、町政への様々なご意見、ご要望を受け付けするための「要望・意見の受付箱」を設置しており、受付箱への投書、さらには電子メールや電話などによる要望等があった場合についても、その都度回答させていただいております。今後におきましても、幅広い世代の方々から意見や要望を伺う機会を作ってまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大浜中西区会

要 望 事 項

水道料金について

町の水道料が他の市町村に比べて高いのはなぜか。その改善にどのように取り組んでいるのか。

回答（処理）事項

担当課名

水道課

本町の水道水10m³当たりの水道料金は、2,636円と全道に94ある上水道事業者の中で17番目に高い料金となっています。（平成27年4月1日現在）

近隣と比較しますと小樽市が1,371円、また道都 札幌市は1,425円と本町の約半分の水道料金ですので、やはり本町の水道料金は近隣の大都市と比較すると高い設定金額になっています。これは、人口の多い都市部は、水道施設の建設費用や維持管理に要する費用を多数の住民で負担することができるため、低い料金設定が可能となっています。

水道料金が低い設定となる第一の理由は、町内の約3/4を賄う基幹浄水場の更新を行うために多額の建設費用を要したためです。余市川を水源とする「余市川浄水場」は、昭和29年の水道創設期より稼働してきた「朝日浄水場」が、施設の老朽化、更には水質基準の改正などにより更新に迫られ、平成21年度に55年振りに全面更新しました。次世代まで継承できる耐震性に配慮した高度浄水処理のできる施設となっています。

また本町には、余市川浄水場のほかに主に西部地区の給水に対応し本町で2番目に大きな「豊丘浄水場」、更には市街地から離れた場所にある豊浜地区、登地区、栄地区のためにそれぞれ専用の浄水場があり、全部で5つの浄水施設が稼働しています。これらの施設を維持管理していくためには、職員の人員費、電気料、薬品代など多額の経費を必要とします。

こうした水道施設の更新や、地理的な要因により複数の浄水施設を持たなければならないという、他の市町村とは違った事情があるからです。

町民生活に欠かすことのできない重要なライフラインである水道を、今後とも安定的に維持・継続していくために、職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えておりますのでご理解をお願いします。

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

道の駅について

トイレ利用所のようになっています。フードコートなどの設備を作り、また商品(地元の)を多く陳列し、観光客の方に楽しんでもらえるような道の駅にして欲しい。

回答(処理)事項	担当課名	商工観光課
<p>ご指摘のとおり、「道の駅 スペース・アップルよいち」供用開始当初の利用形態は、道路利用者に対する休憩機能が中心とした施設として整備されましたが、最近の道の駅の傾向としまして、地域のPRや地場産品等の物販機能を強化した形態が主流となってきており、道の駅自体が観光施設としての目的地となってきています。</p> <p>現在の「道の駅 スペース・アップルよいち」は、供用開始から18年が経過しており、最近の道の駅の傾向に合わない形態となってきている状況です。</p> <p>町では、現在、最近の道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を再編整備するために調査検討を行っているところであり、今後、地元住民への利便性の向上はもちろんのこと、観光客に対しての機能充実を図るべく取り進めていきます。</p>		

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

防災無線の設置について

緊急事態に対応するため、広報として防災無線の設置を検討すべきであるかどうか？(仁木町は全世帯についている)

回答(処理)事項	担当課名	地域協働推進課
<p>現在本町では、災害等の発生または発生のおそれがある場合には、その地域の皆さんに対して広報車による伝達や携帯電話への緊急速報メール(エリアメール)の配信、マスコミへの情報提供、さらには区会への連絡や個別訪問などにより対応することとしています。防災無線の設置については、導入に伴う経費や維持管理経費など考慮すると、早期に整備することは困難な状況にありますが、災害時における情報伝達の確保は重要課題の一つであるため、防災無線のシステムや整備上での地理的条件など、本町に最も適した、皆さんに確実に情報が伝わる手段の検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

流雪溝の延伸について

大川町1 1丁目交差点までの流雪溝の延伸をお願いしたい。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>流雪溝につきましては、国道を管理する北海道開発局において整備した経緯があり現時点での延伸計画はございませんが、歩道における一時堆雪や積雪の状況により住民生活の安全性確保が困難になると見込まれる場合には、必要に応じ関係機関に対し歩道空間の確保等の要請をしてみたいと考えてございますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

教員住宅について

全く使用されていない古い教員住宅を早く処分売却して教育予算にまわして欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	学校教育課
<p>現在、教育委員会所管の教職員住宅は、昨年度1棟1戸を売却、今年度5棟10戸を解体し、現在15棟20戸ありますが、現在、老朽化に伴い使用が困難な教職員住宅につきましては、大規模な改修が必要となるところであります。今後は、使用予定のない教職員住宅については、解体や売却の方向で検討したいと考えております。</p>		

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

教育施設について

大川小の温室、旭中の特別支援の陶芸小屋は全く利用されていない。社会教育施設に転用して陶芸教室や植物の苗づくりや温暖な地方の植物栽培に活用して欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	学校教育課
----------	------	-------

大川小学校の温室については、現在は温室としては使用しておりませんが、生活科や理科の授業で児童が使用するスコップやプランターなどの関連用具の保管場所として使用している状況であります。また、旭中学校のしおかぜ実習室については、特別支援学級在籍生徒の実習室として使用しておりましたが、ご指摘のとおり、現在は使用されていない状況であります。また、建物自体も老朽化が進み、社会教育施設など他の施設への転用を行うことは困難であると考えられますので、今後は、施設の有効活用について検討してまいります。

提出区会名
大川町第7区会

要 望 事 項

ゴミ収集について

ゴミ収集日の住民の無理解から、無料のプラゴミでは何でもござれになっている。町としても対策を考えて欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
----------	------	-------

プラ包装類については異物や汚れがついていると回収できません。回収できない理由を記してシールを貼付していますので、出された方が再度分別をして出し直すこととなりますが、そのまま放置されるケースがあります。対策としては、収集されなかったプラ包装類を写真撮影のうえ回収できない理由を記したラミネート加工の啓発文をステーションに掲示するなどしています。また、そのステーションの事情に合った回覧板や啓発文書を作成し配布するなどし、地域と一体となり取り組んでいます。なお、先進自治体では、常習的な不適正排出に悩む地域団体に、監視カメラを貸与し、地域の不適正排出防止に対する取り組みを支援し、地域と協同でまちの美化に取り組んでいる事例もあることから本町においてもこれらについて、調査研究を進めてまいります。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

海水浴シーズンの多量のゴミについて

夏季の海水浴シーズンに多量のゴミ、栄町の海岸でキャンプをした人達が砂浜に放置したものです。また、地域のゴミステーションにも無分別のゴミが大量に捨てられ困っております。砂浜に通ずる道路を遮断し、キャンプなどすることができなくなるようにしなければ問題の解決はしないのではないかと。道路封鎖を要望いたします。海岸に近いゴミステーションでは毎年、毎年こうしたことで迷惑を被っております。

回答（処理）事項	担当課名	農林水産課
----------	------	-------

栄町農地海岸につきまして、環境保全及び景観等の観点から町としても適宜収集・回収を実施しております、更には海岸を利用される団体の中にはボランティアで収集作業を行って頂いているところもございますが、モラルのない利用者に対しマナー向上の啓発に努めてまいります。
道路封鎖につきまして、海岸法は海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、国土の保全に資することを目的としておりますが、現在管理者である北海道ではこの海岸への車両の乗り入れ等の規制は行っておりません。今後、同法の趣旨に照らし規制の必要性等について管理者である北海道と協議してまいります。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

小型機の飛行について

本区会の上空を小型機が頻繁に飛行しているが、事故の心配がある。特に民家の上空の飛行をさけるよう指導して欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
----------	------	---------

要望にあります小型機とは、モーターパラグライダーのことを言っていると思われませんが、現在、それらは、日本の航空法において航空機に当たらず法の規制を受けるものとはなっていません。そのため、一部区域を除いて飛行許可を受けずに飛行することが可能となっておりますが、騒音や高度など、全国的にも問題になっているケースもありますので、その対応策について、先進地の事例などを調査・研究してまいります。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

公民館駐車場について

昨年「公民館駐車場は、冬期間もしっかりと駐車スペースを確保して欲しい」旨要望した。その回答は「今後、公共交通機関を利用するよう周知に努める。」であったが、どのような周知したのかを回答願いたい。

また、駐車台数の確保のため公民館横公園を駐車場にし、国道からも出入りできるようにして欲しい。それによって、正面に入った車も簡単に抜けることが可能である。ない、代替の公園が必要と思われるが、それについては別途要望する

回答（処理）事項	担当課名	社会教育課
----------	------	-------

公民館の駐車場につきましては、数に限りがあり、公民館収容人数から見てもかなり少ないことから、大きなイベントや大会等で多くの方が公民館を利用する場合は、利用する団体に対し、駐車場に限りがあることと併せて、周辺の駐車場を利用することと、公共交通機関を利用するように、周知していただくように努めております。

また、公民館横の公園を駐車場にとのご意見ですが、役場の所管する課と協議してまいります。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

公園の整備について

本町の大きな公園として円山公園があるが、中心部から遠い上に魅力に乏しい。真の意味での町民の憩いの場となるような公園が欲しい。町の中心部に近いのがベストと考えられるが魅力があるなら少々遠くても多くの人が集うはずである。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
----------	------	-----

町内の公園につきましては、53箇所あり、円山公園や余市運動公園などの主要な公園のほか、宅地等の開発行為により整備された公園をはじめ、地域に密着した身近な公園が配置されております。

ご要望にございました円山公園につきましては、コンビネーション遊具や花と緑の四季のうつろいを感じさせるふれあい交流施設を配置し、四季の移り変わりの中で楽しめる公園として町内外から利用されています。また、余市川沿いには運動公園があり野球やテニス等が使用できるスポーツ施設があり、あゆ場公園ではパークゴルフ場が配置され多くの方々に利用されています。

今後とも児童の遊び場、地域住民の憩いの場などの様々な公園機能の確保を図りながら魅力ある公園づくりに努めてまいりたいと存じますので、ご理解をお願いします。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

交通安全灯について

ビクトリアから東側の町道は交通安全灯の絶対数が不足していることに併せて、光量不足なものがあるため。夜間の歩行は危険であり、新設と更新を希望する。

回答（処理）事項	担当課名	総務課
----------	------	-----

交通安全灯の設置については、各区会からの要望を受け、現地調査を行い、予算の範囲内において、緊急度の高いところから優先的に更新・設置をしています。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

日商プロパン付近の交差点について

町道の東側からこの交差点に進入するとき、南側(登方面)からの車はカーブミラーに頼るしかなく、大変危険であるので安全策を講ずるよう毎年要望している。注意喚起の看板が掲げられているが、ほとんど効果がないと考えられる。昨年の町の回答は「2方向で一時停止規制をしているので、十分である。」とありましたが、それだけでは非常に危険であるからこそ、こうした要望をしているのだということ認識し、真摯な対応と要望の実現を望むものである。

回答（処理）事項	担当課名	総務課
----------	------	-----

毎年同様のご質問をいただいているところですが、現時点で大きく道路の線形を見直すことは困難であり、信号機や一時停止といった道路の規制については、北海道公安委員会の所管であることから、当該箇所について、一時停止の標識等の設置要望があることはお伝えしていますが、優先道路性、利便性を考えると主たる道路と従たる道路が明確になっており、現時点で一時停止の標識は設置できないとの回答を得ているところです。

町としても看板を設置し、注意喚起を呼びかけているところですが、本年度はさらに当該箇所の交通安全灯の更新を計画しています。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

公民館について

公民館は、余市町の規模の割合に途中半端で大ホールは貧弱である。別で要望した駐車場の件と併せて、増築、改修、移転など町民のニーズに応えられるものにして欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	社会教育課
<p>公民館も開館から30年以上も過ぎて建物や設備の老朽化が進んでおります。 増築や改修、移転につきましては、予算もかなりの額となることが予想されますが、緊急性や必要性を鑑みながら、まずは計画的に順次改修していかなければならないと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

JR存続について

JR存続に向けて国への陳情も必要だが、沿線住民、観光での来訪者、地元企業にとってプラスになる対策を検討して欲しい。
 （例 JR利用者は駐車料金の割引）

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
<p>北海道新幹線札幌延伸に伴う並行在来線の動向については、沿線の自治体で構成される北海道新幹線並行在来線対策協議会において継続して協議を行っているところですが、本町としても鉄道の存続に向け、町内関係団体とともに余市駅へのICカードの導入やバリアフリー化等、利便性向上に向けた設備の充実について要望を行うとともに、特急ニセコ号運行時の余市駅でのお出迎え、お見送り等、観光での来訪者へのPRもあわせて行っているところです。 今後につきましても、他の沿線自治体との協力の下、鉄道の存続に向けた取組を継続していくとともに、町内外の余市駅利用者の利便性を高めるための検討を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

乳児医療費助成について

乳児医療費助成で助かっています。しかし、町の某総合病院では毎回同量道強の薬を処方され戸惑いました。札幌の病院に転院すると毎回、薬の効き具合や後何日もつか聞かれ無駄なく使い切っています。病院が助成制度に乗って不要な診療、薬の処方に至っていないか検証した方がいいのではないかと

回答（処理）事項	担当課名	保健課
<p>本町の子どもに対する医療費助成につきましては、北海道の医療給付事業を基に就学前までの医療費及び小学生にあっては入院のみを対象としていたものを、子どもを持つ親の家計に対する支援という考えから、本年10月1日より中学生の入院・入院外まで対象を拡大しています。病院での受診では、個々のケースによって診療や薬の処方に違いがありますが、今後も医療費の適正化に向けた検討を進めてまいります。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

道の駅について

内容の充実を図り、観光の拠点として余市町内外の人々に認知度アップ、再度寄って買い物したいなど魅力のある道の駅を目指した取組みをして頂きたい。同窓会に参加した友人から「道の駅何もないね」といわれました。

回答（処理）事項	担当課名	商工観光課
<p>「道の駅 スペース・アップルよいち」供用開始当初の利用形態は、道路利用者に対する休憩機能が中心とした施設として整備されましたが、最近の道の駅の傾向としまして、地域のPRや地場産品等の物販機能を強化した形態が主流となってきており、道の駅自体が観光施設としての目的地となってきています。</p> <p>町では、現在、最近の道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を再編整備するために調査検討を行っているところであり、今後、地元住民への利便性の向上はもちろんのこと、観光客に対しての機能充実・魅力度向上を図るよう取組みを進めていきます。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

防災サイレンについて

この地区には防災のサイレンなどありません。台風や北朝鮮のミサイル発射などの危険を知らせる対策はどうしているのでしょうか？町民全員が携帯電話をもっているとは限りません。全員に知らせるサイレンでもしてください。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
<p>現在本町では、災害等の発生または発生のおそれがある場合には、その地域の皆さんに対して広報車による伝達や携帯電話への緊急速報メール（エリアメール）の配信、マスコミへの情報提供、さらには区会への連絡や個別訪問などにより対応することとしています。また、サイレンの設置については、現在、本町では防災無線の整備に係る調査・研究を実施しております。防災無線は、導入に伴う経費や維持管理経費など考慮すると、早期に整備することは困難な状況にあります。災害時における情報伝達の確保は重要課題の一つであるため、防災無線のシステムや整備上での地理的条件など、本町に最も適した、皆さんに確実に情報が伝わる手段の検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

高齢化対策と交通網整備

高齢化加速に伴う高齢ドライバー対策と公共交通網がどれだけ機能していて今後どのような形で整備あるいは支援できるのか調査と具体的な対策を世代別人口推移に照らして考えて欲しい。

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
<p>現在、地域公共交通を取り巻く状況は、人口の減少や自家用車の普及等により、利用者の減少が進んでいる一方、自分では自動車を運転することができない高齢者や障害者など、「交通弱者」と言われる町民の日常生活に必要な交通をどのように確保していくかが課題と考えています。</p> <p>町では、こうした高齢化社会等における地域公共交通の維持、確保に向け、余市町にふさわしい効果的、効率的な地域公共交通網のあり方等について協議、検討を行うため、本年度、交通事業者の関係者・機関団体、地域住民団体等により組織する「余市町地域公共交通活性化協議会」を設置いたしました。</p> <p>今後においては、この協議会により、町内における公共交通を取り巻く現状と課題について調査を行い、全町的な交通体系や交通政策について、具体的な協議・検討を進めてまいります。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

津波時の避難について

栄町の砂浜の砂が波の影響で随分少なくなり、場所によっては住宅近くまで波が迫ってきており心配です。津波のときは、避難はどうしたらよいのか？説明会を持って欲しいです。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
<p>災害などが起きた時の避難については、現在本町では、災害等の発生または発生のおそれがある場合には、その地域の皆さんに対して広報車による伝達や携帯電話への緊急速報メール（エリアメール）の配信、マスコミへの情報提供、さらには区会への連絡や個別訪問などにより対応することとしています。避難所については、本年2月に北海道から新たな津波浸水想定が公表され、本町では、その公表結果に基づき津波や風水害など災害の種類に対応した避難所の見直しを行い、頑丈かつ高階層の民間施設を避難所として指定するなど、避難体制の拡充を図るとともに、それらを新たに作成する防災ガイドマップに示し、全戸配布により皆さんにお知らせすることとしています。今後も、区会と連携を図りながら、防災学習会や防災訓練などをおして、防災意識の高揚と知識の普及、啓発を行ってまいります。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

宅地団地の雑草の処理について

ここ数年前から宅地周辺の雑草地における雑草がのび、人被害などが発生し環境悪化を来している。当該地主はもとより関係役場のたいおうも必要なことから「雑草処理による環境改善」を要望いたします。イタドリの花粉でアレルギー障害を起こしているのので何とかして欲しいとの要望です。（別紙位置図参照）

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>ご添付いただきました位置図から推察するに、ご要望のございました土地につきましては、民地等であると思われます。本来、持ち主の方が適正に管理を行うことが必要と考えるところですが、雑草の繁茂や害虫の発生、ごみの放置など近隣住民の生活環境の保全という観点から、地域とも相談しながら所有者に適正な管理を行っていただくような働きかけも必要と考えるところでありますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

小中学校への通学定期代の助成の要望について

栄町地区はスクールバスの助成があります。同じようにそれ以外の地区から通学する場合、いくらかの助成があってもいいのではないかと考えています。通学にはバスを利用していますのでバス停定期代の助成を要望したいと考えています。
そして前向きな姿勢で助成のための調査、検討を希望いたします。

回答（処理）事項	担当課名	学校教育課
----------	------	-------

スクールバスについては、現在、2路線を運航しておりますが、運行にあたっての経緯につきましては、旧豊丘小学校や旧栄小学校の統廃合に関する協議を進める中で、地域から出されたスクールバス運行に係る要望書の提出を受け、協議検討を行った上で、統廃合前の小学校区の児童生徒数に応じたスクールバスの運行を現在行っているところです。
今後、上記以外の児童生徒に対し通学定期代の助成を行うには、文部科学省において遠距離通学として定められております通学距離が、小学校で4km以上、中学校で6km以上とされていることを踏まえ、全ての町立学校区における通学距離を精査し検討を行うことが必要であり、また、通学定期代の助成につきましても、財政状況等を勘案した場合には、現時点では難しいと考えております。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

巡回バスやコミュニティバスについて

他町村で行っている巡回バスやコミュニティバスが実現できれば、高齢者、障がい者の方たちももう少し町内の移動がしやすくなるような気が致します。是非とも実現に向けて取り組まれるよう希望しております。

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
----------	------	-------

現在、町内の「巡回バス」といたしましては、中央バス余市協会病院線が運行されていますが、本路線につきましては、利用者の減少が続いており、運行経費が利用収入を上回る赤字路線となっており、町では、地域医療を支える重要なバス路線であることから、これまで運行維持対策として、毎年、運行事業者への補助を行っています。
こうした中、町内にはバス路線が運行されていない地域や近隣のバス停留所までの距離が離れている地域があり、高齢化が急速に進む中、こうした高齢者の社会参加の促進や日常の買い物・通院など、外出の支援として公共交通機関の維持、確保は大変重要な課題であると認識しております。
町では、こうした高齢化社会等における地域公共交通の維持、確保に向け、余市町にふさわしい効果的、効率的な地域公共交通網のあり方等について協議、検討を行うため、本年度に交通事業者の関係者・機関団体、地域住民団体等により組織する「余市町地域公共交通活性化協議会」を設置いたしました。
今後においては、この協議会により、町内における公共交通を取り巻く現状と課題について調査を行い、「巡回バス」や「コミュニティバス」の運行等を含め、全町的な交通体系や交通政策について、具体的な協議・検討を進めてまいります。

提出区会名
大浜中東区会

要 望 事 項

ふるさと納税について

余市町ではふるさと納税の返礼品としてどんなものを贈っているのでしょうか？また、納税された税はなにに使っているのでしょうか？

回答（処理）事項

担当課名

企画政策課

いわゆる「ふるさと納税制度」につきましては、平成20年4月の地方税法の改正により創設され、余市町においても制度の趣旨を踏まえ同年度より実施をしております。

この制度は、他市町村に納税するというものではなく、自分の生まれ育ったふるさとなどを応援することを目的に、自治体に対して一定額を寄附した場合、その寄附金額から2,000円を差し引いた額が、寄附者の収入に応じて、寄附をした年の所得税と翌年度の住民税の合計から控除されるものです。

余市町では、平成26年度から、寄附をしていただき余市町を応援していただいた方々に対して、感謝の気持ちをお伝えするとともに、余市町を広くPRするため、町の特産品を返礼品として送呈しており、平成29年度からは、制度の趣旨を踏まえ更なる制度の見直しを行い、余市町をPRするための返礼品として、町特産品のりんご、なし、ぶどう、さくらんぼ等の果物、うにや海老等をはじめとした水産物、にしんやサケ、いくら、たらこ、数の子等の水産加工品、ウイスキー、ワイン、ジュース等の飲料品など、約120品の町特産品を返礼品として送呈しています。

また、こうした寄附金を活用してこれまで実施した事業につきましては、「余市町の未来を担う青少年を育成する事業」として、町内児童生徒による親善交流都市等との地域間交流や町内中学生の姉妹都市提携をしている英国イーストダンバートンシャイア市への派遣による国際交流事業を行うとともに、スポーツ教室や町図書館、各小中学校への図書購入事業などがあります。

今後においては、青少年育成に加え、人口減少・高齢化が進行する中でも持続可能な地域社会の実現に向け、産業の振興や、ひとの流れを生み出すための取組にも活用できるよう、条例を改正し対象となる施策の拡充を図っているところです。